

予算決算福祉文教小委員会審査報告

令和2年3月16日

予算決算常任委員長 渡 邊 千賀雄 様

福祉文教小委員長 伊 藤 まゆみ

本小委員会に付託された事件にかかる審査内容及び主な質疑、意見等について、次のとおり報告します。

記

事件の番号	付 記 内 容
議案第28号	令和2年度飯綱町一般会計予算中、 民生費、衛生費、労働費（シルバー人材センター運営事業） 教育費及び関係歳入

第3款 民生費

□保健福祉課

質疑①：結婚相談所に登録された方へ、担当者が電話で1件1件連絡していると聞いたが、簡単にできるメールの一斉配信による情報提供等の対応は考えているか。

回答①：結婚相談所ホームページにおいての登録やメール配信について、社会福祉協議会と検討する。

質疑②：社協への運営補助金が拡充されているが、自立した運営にしていく努力が必要と思う。どのように考えているか。

回答②：社協は、社会福祉法により行政はその活動の支援を行う必要がある。社協の業務として、介護保険事業では収益が出るが地域福祉事業は収益が伴うものではないので、町が行う事業としてある程度は町が活動を支えていかなければ難しい状況である。

質疑③：長野広域連合負担金が昨年より506万5千円増額ということだが、その内容と8施設を詳細に教えていただきたい。

回答③：長野広域連合の施設運営に係る財源について、財政調整基金の枯渇により確保できないことから、令和2年度から市町村負担となったためである。なお、8施設については、養護松寿荘、はにしな寮、特養松寿荘、久米路荘、小布施荘、矢筒荘、須坂荘、豊岡荘。

質疑④：デイサービスセンターふれあいの園ボイラー及び濾過ポンプ更新工事において、台風19号による災害時、お風呂が牟礼デイサービスセンターとそれぞれ男女別々であったが、故障により使用できなかったのか。緊急の修繕が必要であれば補正対応でもよかったのではないか。

回答④：その時点で初めて社協より報告があり、濾過ポンプが故障しており男女の浴槽を使うことができないことが分かった。修繕するにしても受注生産であり、修繕に期間を要することから、すぐに直すことはできなかった。

質疑⑤：パワリハ機器リース料について、令和2年度では旧三水第二小学校にパワリハ機器が設置されるのか。また、パワリハを使用したい方は大勢いると思うが、体験会等の実施を予定しているか。

回答⑤：旧三水第二小学校には、体育館の部屋を改修してパワリハの機器を設置する。それにより、町内には多世代交流施設と旧三水第二小学校、福井団地の3カ所にパワリハの機器が設置されることになる。また、申込方法や体験会の実施については、広報等により周知を図り実施していく。旧牟礼西小学校にはスポーツトレーニング用の機器が設置される予定。

質疑⑥：パワリハは、福井団地と同じように総合事業で実施するのか。

回答⑥：総合事業で新たに立ち上がる地区は総合事業での活用もできるが、一般介護予防事業と健康増進事業として、健康寿命を延伸することを目的に40歳以上の方を対象に事業を進める。

質疑⑦：老人クラブ加入者が各地区で減ってきているが、加入推進の方法は検討しているか。

回答⑦：赤東、福井団地、坂上などの老人クラブでは会員数が増加している。地区により増減はあるが、加入促進については老人クラブ連合会の会議において、老人クラブの事務局を担当している社協と連携し検討したい。

意見⑧：政策要望書の高齢者を65歳とする定義については、「人生を極めた人」という意味合いであり、町としても意識を変えていく必要がある。そのような意味を考えて回答してほしい。

□住民環境課

質疑①：国民健康保険費は昨年度に比べ減額になっているが、その内訳は。

回答①：基盤安定保険税軽減分126万7千円減額、保険者支援分40万3千円減額、事務費1,257万1千円減額、財政安定化支援事業93万2千円増額により、総額1,330万9千円の減額である。

質疑②：後期高齢者医療事業の負担金はどういう基準で計算されるか。

回答②：この負担金は、後期高齢者医療広域連合へ支払われる療養給付費負担金で、

療養給付費の12分の1を町で負担する。

質疑③：後期高齢者医療の対象者は何人いるか。

回答③：令和2年1月末現在の被保険者数は2,197人である。

□教育委員会

質疑①：RPA在宅ワーク実証実験の具体的な内容は。

回答①：令和2年度は、町内企業の導入事例を図りたい。町内企業1社でも2社でも、あるいは農家においてでも導入事例を図りたい。ふるさと納税事務を行っているまちづくり会社のカンマッセいいづなで行えないか検討している。

質疑②：セミナーを受けてもそれが手に職になるのか。お金になるのか。町内の企業にとってもなかなか難しい。国では、自治体でRPAを進めるように交付税措置をするという中で、産業観光課で令和2年度RPAを導入すると言っていた。役場庁舎内や病院内でRPAを進めることは考えていないのか。

回答②：昨年末に庁内で説明会やデモを実施したが、役場の業務は個人情報があり、町内のママさんにデータを渡して実施していくことは今のところ難しいのではないかと思う。個人情報を扱わないものから実施できないか今後検討したい。

質疑③：保育園の給食費の関係で、さみずっ子保育園の誕生日会の給食について説明があり、主食費は保護者会から支出だったが、県から誕生日会のメニューに指導があったと聞いた。具体的な内容はどうだったのか。

回答③：誕生日会のメニューの中で、カロリーが高いメニューになっているとの指導があった。子どもには高カロリーで見直した方がよく、適正なカロリーで子どもも楽しめるものにした方が良いとの指導があった。

質疑④：月1回なら調整してできそうではあるが、全園で実施しているのか。

回答④：誕生日会の前後の日でカロリーを低くする等はできないので、今後、高カロリーではないメニューを考えて実施していきたい。また、誕生日会は全園で実施している。

質疑⑤：iママフェスタ事業で委託会社が入っているが、町内参加者が主体となって行う内容に委託会社との調整はされているのか。

回答⑤：調整は行ってきたが計画どおりにいかないことが多くあった。参加していただいた地域の人や多くの来場者に迷惑をかけてしまった。この反省を来年に生かしていきたい。

質疑⑥：子育て応援祝い金の目的は。

回答⑥：人口増対策である。町で子育てしたいという人への支援は、経済的な支援と子育て環境の整備の二本柱で行わないといけない。祝い金の金額については、「第1子から20万円ほしい」という意見もある。人口増を狙うなら、第1子から20万円にした方が飯綱町で子育てしたいという人が増えるかもしれない。この事業は、平成28年度から実施してきているが、子ども子育て応援会議の中から提案された事業であり、地域の事業者のPRも兼ね、お祝い

の記念品も贈っている。事業の在り方や祝い金の額については、令和2年度の子ども子育て応援会議の中でも検討していきたい。

質疑⑦：金額の問題ではない。それだけで人口増にはならないと思う。夫婦で働くところがあるとか、子どもを育てる環境をこうした方が良いとか、そういうところにお金を使ってほしい。町の人気取りでお金を使うだけではなく、ほかに何かできないか検討してほしい。

回答⑦：検討を重ねてより良いものにしたい。

第4款 衛生費

□保健福祉課

質疑①：がん検診の無料クーポンの利用率は。

回答①：平成30年度は、子宮がん検診については204名のクーポン配付で34名の受診、受診率16.7%。乳がん検診は310名クーポン配付で80名の受診、受診率25.8%。大腸がん検診は男女で685名のクーポン配付で45名の受診、受診率6.6%。

質疑②：利用率が低い原因とそれを上げるための対策は。

回答②：子宮がん検診と乳がん検診については、県の相互乗り入れ制度を利用し、飯綱病院以外の医療機関でも受診できるよう対応している。大腸がん検診については、飯綱病院のみでの実施となるが、国保特定健診とセットで実施している分は費用負担を求めず実施している。それらを含めると、多くの方が大腸がん検診を実施されていると思う。無料クーポンでの45名の実施は、個別単独の大腸がん検診で利用した方の数値となっている。数年前に、住民の方に検診受診の実態を把握するアンケート調査を行ったところ、休日の検診を希望される方もいたため、3年前より休日がん検診を実施している。より多くの方に受診していただくよう、体制づくりなど検討が必要であると思うので、今後も検診ニーズ調査を行うなどして、それらも踏まえて対応を考えていく。

意見③：できるだけ多くの方に受けていただけるよう工夫して進めていただきたい。

質疑④：母子保健事業の中に「眼科検査機購入」とあるが、どういったものか。

回答④：乳幼児健診時に視力検査を実施しているが、子どもの理解力、判断力によっては正確に判定できないこともあり、視力等の異常を早期発見するために誰が実施しても画一的な検査ができるよう、スクリーニングの器械を購入し、視能訓練士による検査を行うものである。

質疑⑤：病院に受診してやるべきでは。

回答⑤：視能訓練士という医療有資格者に健診時に来ていただき、機器を使って検査をする。結果により、要医療機関受診の場合は小児科の医師等に相談しながら

ら眼科専門機関への受診につなげ、早期の対応ができるよう進める。参考に近隣市町村の状況は、中野市、小布施町、須坂市は同様な方法。信濃町は、健診とは別日に病院受診による方法で、保護者に負担があるため他の市町村の健診の様子も踏まえて、このような形での検査体制とした。

意見⑥：有資格者が来ての検査ならば良いと思う。

質疑⑦：健康増進事業費の「健康プログラム」が前年比より 127 万円ほど減となっている。

回答⑦：健康プログラムの経費内訳は、大半が活動量計の I D やシステムの基盤運営経費。その中に外部講師として依頼していたタニタ管理栄養士等のセミナーを削除し、次年度は町の職員で実施するため。

質疑⑧：産後ケアの宿泊型について、利用の手順はどのようになるか。

回答⑧：助産所「ほやほや」と吉田病院を予定している。産後に行うエジンバラ検査の高得点者や産後に家族からの支援を受けることが難しい方への支援として行う。担当助産師からの連絡や病院の医師からの意見も踏まえ申請していただき、利用を決定しケア利用することを想定している。医療機関からの利用は、退院後、申請のあと引き続き利用となる流れ。助産所では、同様に利用申請していただき利用する方法を予定している。

質疑⑨：利用算定の日数について教えてほしい。

回答⑨：積算想定では、延べ 10 人の 3 泊とみている。個々の母子の状況により異なるが、実施要綱を今後定めて実施する。訪問型の産後ケアと同様に 7 日以内で利用でき、母子の状況により必要と認める場合は最大 14 日まで延長ができるように配慮したい。

意見⑩：心配される産婦さんは、本人は大丈夫と思っても周りから見たら心配な方がもれ落ちてしまわないよう、特に産後は大切な時期なので、産後うつや虐待等も含めて、きめ細やかな対応となるようお願いしたい。

質疑⑪：保健補導員会の役割について、どう考えているかお聞かせいただきたい。役割が見えてこない。健診の希望調査を配付から郵送にしたが、その回収率が心配なことと、保健補導員の地域との関わりはどこですか。顔を合わせる機会が少ない。

回答⑪：個人情報の問題等で今年度から郵送にした。民生委員と同様、地域の見守り役としても大切な人たちだが、活動内容などについて検討する。回収率は出していない。

質疑⑫：地域のいきいきサロンに保健補導員が参加することについては、年に 1 回の参加でもいいので、町の方から是非要請してもらいたい。

回答⑫：介護保険事業計画や健康づくり計画など、他事業計画の中でも連携はうたわれている。保健補導員の活躍の場として、接点、連携について各係員へも話を伝えているが、社協と健康推進係の担当者間での連携を進めていきたい。また、国は国民健康保険と後期高齢と介護予防事業の一体的な実施について動いている。健康寿命の延伸のためには、いろいろな分野での連携は大切な

のでできるよう進めていきたい。

質疑⑬：ゲートキーパー養成講座について、3回実施とあるがその受講対象者は。

回答⑬：町職員（特に窓口対応）、民生委員会、保健補導員会、福祉関係者及び住民と広く考えている。

意見⑭：前回参加したときに民生委員と保健補導員で会場がいっぱいになり、入りきれないことがあった。余裕のある会場設定をお願いしたい。

□住民環境課

質疑①：北部衛生施設組合費は、し尿処理に対する処理費用のみとなったが、将来的な考え方としてどのようにしたらよいのか検討はされているのか。

回答①：北部衛生施設組合でできる限りの延命の方法を模索し検討しているが、「信濃町・飯綱町し尿及びごみ処理基本計画検討委員会」で、引き続き公共下水道管への直接投入やバチルス菌での処理方法など、先進地を視察するとともに必要な調査・研究を行い、令和2年度には方向性が示せるよう進めている。

意見②：両町の人口が減っている中、病院もあるし、早い時期で方向性を出してもらいたい。

質疑③：可燃ごみ処理費用は、長野広域連合での広域化で費用が安く済むという説明であったが、予算上比較しても感じられない。

回答③：北部衛生施設組合費と長野広域連合費を予算金額ベースで比較しても、その状況は把握できない。広域化に向け、北部衛生施設組合可燃ごみ処理施設は投資的なものは行わず、真に必要な修繕等のみ行い、費用を必要最小限にとどめていたため。

意見④：数字だけ見ると高いので、その説明をしっかりとってもらいたい。

質疑⑤：芋川区内で最終処分場計画をしている事業者の動きはどうか。やめたのか、それとも休止中なのか。

回答⑤：計画された概要説明会は既に終了しているが、その後、県への報告や必要な届出等は何もなされていない状況。

質疑⑥：長野広域連合費の地元対策負担金の金額がかなり増加している。

回答⑥：施設建設地を持っていない市町村が負担する費用であり、地元要望に対して施設建設促進に必要なものを広域連合で精査し対策費用としている。千曲市と須坂市で事業が予定されている。

第5款 労働費（シルバー人材センター運営事業）

□保健福祉課

質疑①：飯綱町の会員は49名だが、賃金は長野シルバー人材センターから支払われるのか。また、会員の方が個人で依頼された仕事についても事業実績に計上されているのか。

回答①：長野シルバー人材センターで受託した仕事は賃金として支給されるが、個人で仕事を受けた場合はシルバー人材センターでは把握できないため事業実績には含まれない。

第10款 教育費

□教育委員会

質疑①：令和2年度より児童虐待防止対策で弁護士等の法務相談の経費について、新たに地方交付税措置が取られる予定だが、令和2年度の町の予算には入っていない。町では実施しないのか。

回答①：町では令和2年度に予定していない。しかし、法的な措置が必要なケースも出てくるかもしれないため、今後検討していきたい。

質疑②：加配について、牟礼小学校13名、三水小学校14名、飯綱中学校11名、合計38名の加配の先生がいるが、同じ規模の町村と比べて多いと思うが、近隣市町村と比較するとどうなのか。また、人口減少について、小学校が統合して2年目だが、ここ数年出生数が50人を割っている。今年度は25人だが、今後の学校経営の試算や課題は。

回答②：加配の数については、近隣市町村の様子は具体的には分からないが、小学校が統合して2年経過し、激減緩和措置で三水小学校は2クラス中1クラスの担任は町費で実施しているため多い。人口減少について、総合教育会議の中で示した出生数の推移は、令和2年4月1日の予定で3～5歳児はそれぞれ60人前後、それ以降は50人前後で推移する予想だが、転出入によって変わってくる。今年度の出生数は25人の予定。総合教育会議で少子化を見据えた中長期的な教育について協議した。今後の少子化により中学校の校舎で間に合うのではないかという意見もあり、今後検討する必要がある。

質疑③：信濃町は、小中学校が9年生になっているのは何が原因か。

回答③：信濃町は、小学校5校を1校に、また中学校も含めて統合し、1～9年生の小学校から中学校までの義務教育学校とした。県内では、統合して同じ校舎内で小学校と中学校の機能を分けているというのはあるが、義務教育で信濃小中学校のような1～9年生はあまりない。飯綱町が将来的にどうするかは今後の検討となるが、現在学校体制をどうするかまで具体的には考えていない。

質疑④：山村留学について取り入れてほしい。

回答④：山村留学については、県内で実施している市町村の研修会に参加し検討を始めたところである。

質疑⑤：歳入の中で、若づくり大学という表記はいいづな大学に変えた方が良い。

回答⑤：そのようにする。

質疑⑥：文化財保護の関係で、旧牟礼西小学校の高坂りんごはその後どうなったのか。

回答⑥：高坂りんごの2本あるうち1本は、牟礼小学校へ移植した。もう1本は、中

宿の農家に移植する予定である。

質疑⑦：B G 指導員の沖縄研修について、指導員の資格を取った後は取っただけになってしまうのか。

回答⑦：資格を取得した後は海洋クラブの指導員として、霊仙寺湖で子どもたちを中心としたカヌーやヨット等の活動を行っている。

質疑⑧：B G の水泳教室に反映していることはないのか。

回答⑧：現在の教育委員会職員で対応している。また、一部は外部委託して実施している。

質疑⑨：学校給食での地産地消について、地域の農産物をたくさん使ってもらいたい。産業観光課とも連携しながら、作付けの頃からお願いをしていかないといけないと思うが、そのあたりはどのような話し合いになっているのか。

回答⑨：年度初めに町内直売所の代表者やJ A に集まってもらい、この時期にこの品物を入れていただきたいと打合せを行っている。その中でも地産地消の話は出るが、具体的な対応策は打合せができていない。町内の直売所が統合されたので、今後改めて話をしていきたい。

質疑⑩：もっと町内産の使える野菜がある。保存がきく雪下野菜の使用など、町内で実証実験を行うべきである。また、学校給食からこの野菜が使いたい等、提案も必要と思うので検討してほしい。

回答⑩：会議には産業観光課の職員も入っている。三本松の直売所ができて通年営業になる。今後、産業観光課や直売所と連携していきたい。雪下野菜は現在信濃町にお願いしているが、今後直売所への出荷や給食に使えるかを検討したい。野菜も時期をずらしながらの作付け等について産業観光課と連携しながら検討したい。

質疑⑪：有機農産物の給食を取り入れることも国では話があるが、移住する人が有機農産物を作りたいと言ってきた場合、売り先について安定的に給食になら出せるというような検討はされているか。

回答⑪：有機野菜での検討は今のところない。減農薬での野菜栽培は農家が実施している場合もある。また、販売となるので農薬の使用など栽培記録を出している。有機野菜の関係は今後検討したい。予算の関係もあり、有機野菜の使用で、安い給食費でおいしいものを提供するとなるとまだハードルが高いと思われる。

質疑⑫：そのため、国も予算化しているので検討をお願いしたい。

回答⑫：今後、検討していきたい。

歳 入

質疑なし

以上